

ハーモニーⅣ 令和7年度実績及び令和8年度目標値一覧【基本目標Ⅲ】

資料1-3①

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	実績 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	実績 (令和7年度)	目標値に対する現状分析、課題及び 令和6年度実績からの増減理由	目標値 (令和8年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	1 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援	地域包括支援センターで受ける総合相談件数	10,916件 (令和2年度)	↗	13,042件	14,000件	12,927件	前年と相談件数及び高齢者人口の変化を比較すると、高齢者人口約0.05％減に対して、相談件数は約0.91％の減少であり、相談者の裾野の拡がりがあり見られない状況と推定される。今後もセンターの周知啓発に努める。 一方、従前は毎年4月1日時点の高齢者人口はこれまで増加傾向であったが、現在は横ばいに転じており、今後の相談件数についても、横ばいまたは減少していくと思われる。	13,000件	地域包括ケア推進課
		福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	16人 (令和2年度)	↗	111人	140人	144人	就労移行支援等の推進により、障がいのある人の福祉施設から一般就労への移行者は年々増加している。引き続き、支援体制の確保、サービスの質の向上を図っていく。	178人	障がい福祉課
		遺児手当受給者数	1,185人 (令和2年度)	→	1,047人	1,047人	971人	受給者数は、基準値（令和2年度）から微減している。支援が必要なひとり親世帯に対して、適切な案内及び支給事務を行っている。	971人	こども政策課
		ひとり親相談の延べ件数	965件 (令和2年度)	↗	726件	1,000件	839件	ひとり親家庭の子育て支援ニーズに対して、適格なアセスメントに基づく一貫性・継続性のある相談を実施した。 相談件数はひとり親家庭を取り巻く環境の変化により、増減が発生する。	1,000件	子育て世代包括支援センター
		民生委員・児童委員の相談・支援件数	4,900件 (令和2年度)	↗	6,461件	6,800件	6,439件	令和6年度と比べて横ばいとなった。子どもに関する支援が減少した一方、在宅福祉等に関する相談・支援は増加しており、継続支援が必要なケースが増加している。	6,800件	福祉総務課
		外国人相談件数	11,351件 (令和元年度)	↗	13,892件	13,900件	15,921件	多文化共生推進室にベトナム語の相談員を配置し、ベトナム語の相談件数が増加している。相談員を配置していない言語についても遠隔通訳サービス等を活用し、相談対応を行っており、相談件数が増加している。	16,000件	多文化共生推進室
	2 視点からの男女共同参画の取組	地区防災訓練実施に伴う女性の参加率	50％ (令和3年度)	→	41.6％	50.0％	36.5％	地域に昔から住む男性が中心となるイメージを持ち、女性が参加しにくい現状がある。女性が担う役割があることを継続して周知する必要がある。	50.0％	防災危機管理課
		女性消防クラブ指導者科入校者数	9人 (令和元年度)	→	9人	9人	5人	所用のため、急遽入校者が5人となった。	小牧市婦人消防クラブ連絡協議会解散に伴い設定なし。	消防総務課
		職員及び地区の防災訓練において男女共同参画の視点に基づいた避難所運営の啓発等を実施した回数	36回 (令和2年度)	↗	72回	60回	81回	小学校区の防災訓練等で男女分け隔てなく避難所設営に参加していただいている。今後も各種防災訓練等で生理用品等の備蓄や要配慮者避難スペースが確保されており、避難しやすい環境であることを周知する必要がある。	85回	防災危機管理課

ハーモニーⅣ 令和7年度実績及び令和8年度目標値一覧【基本目標Ⅲ】

資料1-3②

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	実績 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	実績 (令和7年度)	目標値に対する現状分析、課題及び 令和6年度実績からの増減理由	目標値 (令和8年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	3 人権についての正しい認識と人権侵害への対策	人権教室の実施校数	3校 〔小学校1 中学校2〕 (令和元年度)	↗	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	4校 小学校2 中学校2 (保育園2)	小牧市立の小中学校（保育園）を対象にローテーションで実施している。学校の希望に応じて人権教室を実施しており、今後も学校と生徒人数、講座方法等調整しながら実施する。	3校 小学校2 中学校1 (保育園2)	市民安全課
		小牧市DV対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	—	—	—	子育て世代包括支援センター
		さまざまな人権問題に関する周知活動実施件数	3件 (令和2年度)	↗	4件	4件	5件	男女共同参画週間、男女共同参画月間、女性に対する暴力をなくす運動、国際女性デーにちなみ、市内公共施設にて啓発パネル展を4件実施した。また、若年層へのデートDV防止のための意識啓発資料として「デートDV手帳」を中学校・高校へ配布し、目標値に到達した。引き続き、周知活動を実施していく。	5件	多世代交流プラザ
		小牧市児童虐待対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	—	小牧市児童虐待対策基本計画（第2期）（令和8年度～令和11年度）を策定した。	—	子育て世代包括支援センター
		「SOGI」について、言葉も内容も知っている市民の割合	3% (令和3年度)	↗	—	—	6.7%	SOGI（性的指向及び性自認）について、男女共同参画講座等の開催や啓発紙「性はグラデーション」の配布を通して、周知啓発を図ることができた。 今後も意識啓発を促す講座等を行っていく。	—	多世代交流プラザ
	4 生涯を通じた健康づくりの支援	ウォーキングアプリ「aiko」ダウンロード者数	13,986人 (令和2年度)	↗	28,365人	30,000人	31,921人	R7年度は小牧市制70周年事業の一環として、「市制70周年VRウォーキング大会」を実施した。 本事業では、参加景品として2,500名に1,000円分の商品券を提供したことから、アプリのダウンロード者数の増加につながったと考えられる。	33,500人	健康生きがい推進課
		自分自身を好きと言える市民の割合	73.0% (令和元年度)	↗	—	—	—	以前は、市民意識調査で把握していたが、現在は市民意識調査の設問項目から除外されたため、不明。	—	保健センター
		子宮がん検診（集団・個別）受診率	3.4% (令和2年度)	↗	3.6%	4.1%	3.0%	目標値より低下した。職域でのがん検診受診者が一定数いると推測される。インターネット申込みや周知を継続して定期的な受診を促す。	4.1%	保健センター
		乳がん検診（集団・個別）受診率	3.8% (令和2年度)	↗	4.3%	4.4%	3.7%	目標値より低下した。職域でのがん検診受診者が一定数いると推測される。インターネット申込みや周知を継続して定期的な受診を促す。	4.4%	保健センター
		利用者支援事業相談件数	1,305件 (令和2年度)	↗	2,080件	2,100件	2,379件	こども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要な相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施した。相談件数は継続的な相談支援を実施することで増加している。	2,100件	子育て世代包括支援センター